

# 富士フイルム 神奈川事業場 サステナビリティレポート 2021

小田原サイト



足柄サイト



## 神奈川県事業場の概要

|       | 小田原サイト  | 足柄サイト  |
|-------|---|--|
| 所在地   | 〒250-0001<br>神奈川県小田原市扇町2-12-1   | 〒250-0193<br>神奈川県南足柄市中沼210   |
| 創立    | 1938年6月15日  | 1934年1月20日   |
| 生産金額  | 329 億円  | 608 億円   |
| 敷地面積  | 110 千㎡  | 326 千㎡   |
| 建物面積  | 46 千㎡   | 152 千㎡   |
| 延床面積  | 126 千㎡  | 443 千㎡   |
| 従業員数* | 919 人   | 2,200 人  |
| 主要製品  | <ul style="list-style-type: none"> <li>記録メディア<br/>コンピューター用バックアップテープ</li> <li>化学薬品<br/>写真用/外販用/タッチパネル用フィルム用硝酸銀</li> <li>タッチパネル用フィルム</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>TACフィルム<br/>液晶ディスプレイ用偏光板保護フィルム</li> <li>写真感光材料<br/>一般アマチュア/プロ写真家用 インスタント写真製版用/医療用/事務用/産業用</li> <li>体外診断薬および医療機器</li> <li>透明導電性フィルム</li> </ul> |

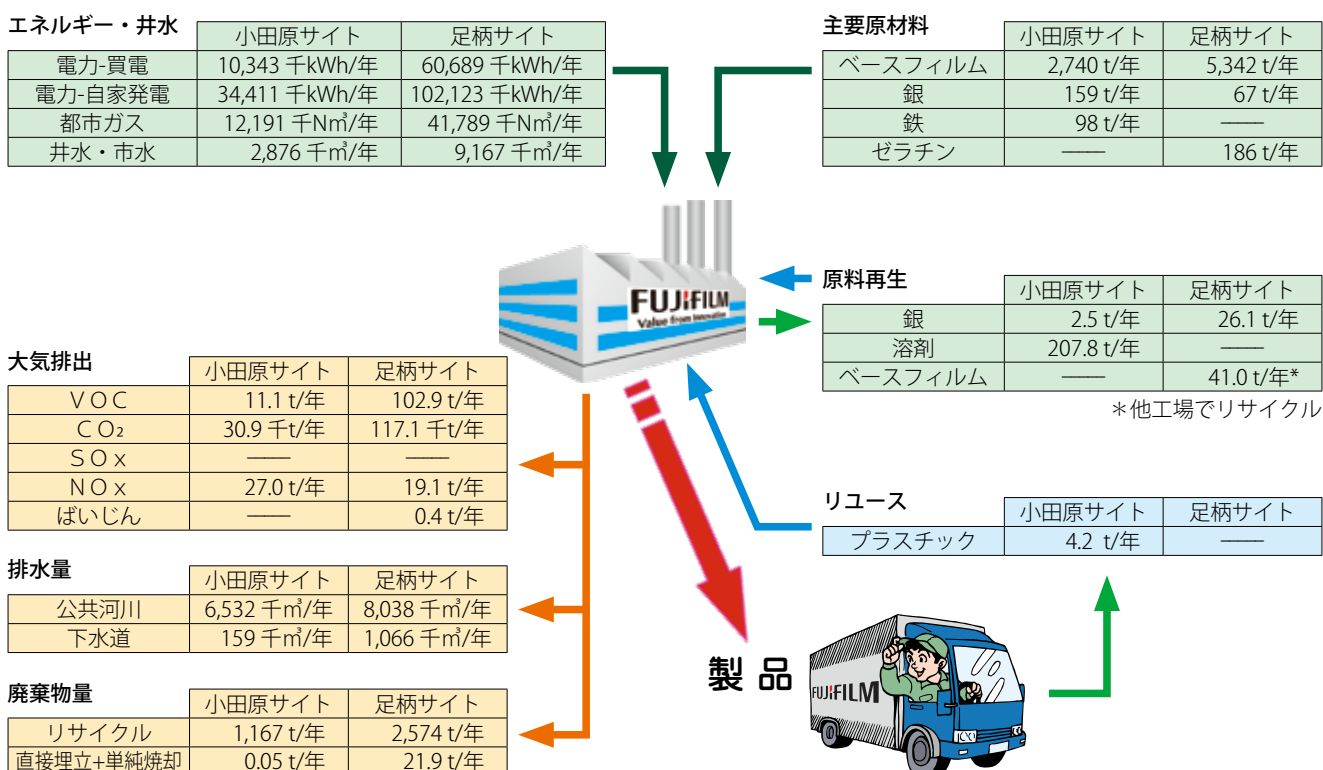
\*2021年3月現在 各サイト内にあるグループ会社の従業員数を含む

### 神奈川県事業場マネジメントシステム認証取得年月

|        | ISO9001   | ISO14001  | ISO9001 / ISO14001<br>小田原 / 足柄サイト統合 | ISO45001<br>統合マネジメントシステム*運用 |
|--------|-----------|-----------|-------------------------------------|-----------------------------|
| 小田原サイト | 1992年 10月 | 1996年 10月 | 2006年 12月                           | 2009年 11月                   |
| 足柄サイト  | 1992年 9月  | 1996年 12月 |                                     |                             |

\*統合マネジメントシステム  
ISO9001/ISO14001/ISO45001の3つを統合し運用しているマネジメントシステム

## 神奈川県事業場の環境負荷（2020年度）



神奈川事業場は数多くの製品を生産している国内最大の生産拠点です。そのため富士フィルムグループの環境方針である「富士フィルムグループグリーン・ポリシー」の重点課題の一つである環境保全に積極的に取り組んでいます。

## (1) 環境トラブル「0」継続のための取り組み拡充

原材料として多種多様な化学物質を使っているため、大気、土壌、河川へ漏洩するリスクを回避しなければなりません。1996年に環境マネジメントシステム（ISO14001）の認証を受け、さらなる環境リスク低減のため、設備の老朽化が進む中、配管からの薬品漏洩を主にリスク抽出活動を行ってきました。2019年度には、構外への騒音、臭気のリスクも評価できるリスクアセスメント手法に改良しました。現地現物でリスク抽出することを徹底し、環境ヒヤリ発生件数は年々減少傾向になっています。2020年度には、年一回行われる外部機関の審査で、環境ヒヤリ削減活動が良い活動として最高位の評価を受けました。過去のヒヤリ事例によるディスカッション、構内での騒音・臭気等の懸念現象の早期発見、トラブル未然防止施策、従業員への環境教育、等を行い、従業員の環境活動へのモチベーション向上を図り、様々な角度から環境リスク低減策を推進し、2006年度以降、環境トラブル「0」を継続しています。

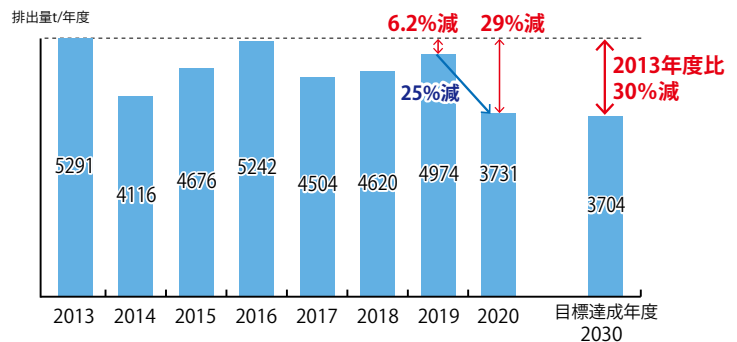
騒音発生源の調査の様子



## (2) 廃棄物排出削減への取り組み

2018年1月に中国で廃プラスチックの輸入を禁止され、さらに、2019年5月から国際的にリサイクルに適さない廃棄物の輸出入の規制も始まりました。新型コロナウイルスの影響で、廃棄物の回収事情が厳しくなり、従来は再利用品として売却できたものができなくなり、廃棄物量増加の主要因となっています。富士フィルムグループは、資源循環の促進に向けて、2013年度を基準にして、廃棄物排出量を2030年度までに30%削減することを目標としています。神奈川事業場の廃棄物排出量は、2019年度時点では年間約5000トンと目標に対し6.2%の達成に留まっておりました。しかし、2020年度、従来、外部会社に委託して処理してきた導電性フィルム製造時に発生する廃液を、事業内の廃水処理設備の運転条件を見直すことで全量自家処理に変更した結果、事業場の廃棄物総排出量を前年度比25%削減できました。今後も更なる廃棄物排出量削減に向け、廃タックフィルムの有価買取先の探索、プラスチック製のインスタントフィルムのフレームの再資源化等の廃棄物削減の取り組みを進めていきます。また、近隣の神奈川県開成町に拠点を置く研究所ならびにグループ会社とも協働で廃棄物の再利用の検討も行っております。誰もが取り組める廃棄物削減活動として、会議ではできるだけ書類を使わないペーパーレス化も継続して取り組んでおり、従業員一丸となって廃棄物排出削減を推進しています。

神奈川事業場 廃棄物量の推移



## (3) 従業員の環境意識向上

環境事故防止のためには、従業員一人ひとりが環境保全に対して高い意識を持って行動することが必要です。そのために、環境について、自らが学び、考え、前向きに行動できるように全従業員を対象に環境教育を行っています。環境保全活動の大切さを実感し、環境ヒヤリを起こさないよう、6年前から事業場内の水源ならびに廃水処理設備を従業員一人ひとりが見学することで、使った水は元通りきれいに自然に返すことの大切さを理解してもらっています。更なる意識、感度の向上を図るため、2020年度には見落としがちな騒音や臭気の発生懸念がある設備、構内の地下水観測場所等を見学する教育や新たに廃棄物の排出量削減のために従業員が心がけるべきことを座学講座で始めました。

## (4) 廃水処理設備ならびに構内河川監視の管理体制の見直し

神奈川事業場は、神奈川県在住の人に水を供給している神奈川県広域水域事業団の飯泉取水堰（せき）の上流に位置しており、「決して水を汚してはいけない」という思いの下、創業以来80年以上にわたり環境活動に取り組んできました。神奈川事業場の廃水処理設備ならびに構内河川の水質監視は日勤職場で行っているため、夜間に水質変動の警報が出ると緊急呼出して対応しています。そこで、水質監視計器発報時の初動を少しでも早くするために、そのデータをインターネットで管理する仕組みに構築し、緊急時に自宅で廃水設備、構内河川の様子がすぐに判るようにして、より早く適切な対処ができる体制を確立しました。トラブル未然防止をより向上させる活動を今後も継続して実施していきます。



構内河川異常時の自動通報システム

## (1) 中央冷水冷凍機新設による省エネ活動

### 概要

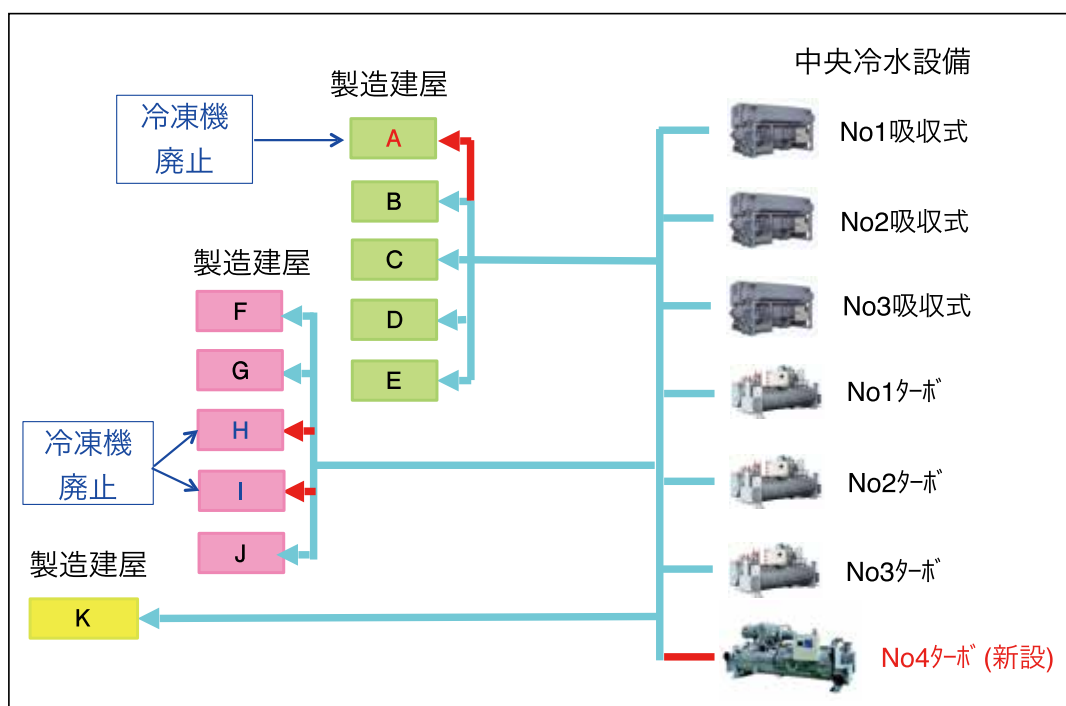
小田原サイトでは、生産ライン毎に設置していた冷凍機を一箇所に集約する中央冷水化を進め、全体最適な冷凍機運転により省エネを推進しています。今回、生産ラインに残されている冷凍機の老朽更新と生産能力拡大のための冷水供給能力増強が必要となったため、更なる中央冷水化を進め、使用電力を約10%削減する大きな省エネを達成することができました。

### 改善内容

一部の製造ラインに残されていた冷凍機を廃止して中央冷水に接続するとともに、それに代わる新たな冷凍機を導入しました。中央冷水に接続したことで中央に設置された7台の冷凍機を工場全体の冷水負荷状況に応じて最適に選択・運転することで、常に高効率の状態を維持することが可能になりました。また新たに導入したインバータ駆動冷凍機はその特性を活かして冷媒の冷却水温度を12℃まで下げた部分負荷運転を可能にしたことで更なる省エネの上乗せもできました。

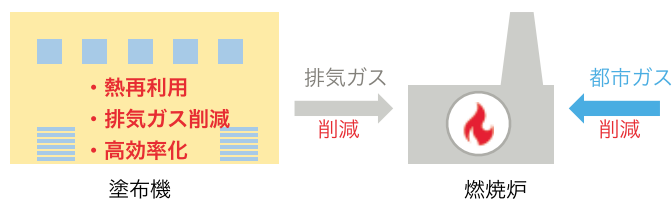
### 改善効果

冷水設備の使用電力の10%を削減し、240ton/年のCO2を削減することができました。



## (2) 磁気記録テープ塗布工程の省エネ活動

小田原サイトの磁気記録テープ塗布生産工程では、塗布膜を乾燥させる為の乾燥風を効率的に加温させるために熱を再利用しつつ、排気ガスを低減する事で、加温機やモーターの使用エネルギーを大幅に削減することができました。また、排気ガスを低減した事により、排気ガスを分解処理する燃焼炉での焼却負荷を低減することができ、燃焼炉昇温燃料としている都市ガスの使用量も半減することができました。



磁気記録テープ塗布工程の省エネ活動

## 大気 (ばい煙・VOC)

|        | 項目          | 対象設備        | 単位                   | 県条例排出基準 | 工場管理値 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------|-------------|-------------|----------------------|---------|-------|--------|--------|--------|
| 小田原サイト | 総量規制        | NOx (窒素酸化物) | Nm <sup>3</sup> /h   | 4.99    | 4.99  | 1.5    | 1.5    | 1.5    |
|        | 濃度規制        | ばいじん        | mg / Nm <sup>3</sup> | 50      | 50    | 1未満    | 1未満    | 1未満    |
|        |             | NOx (窒素酸化物) | ppm                  | 20      | 20    | 12     | 11     | 11     |
|        |             | ばいじん        | mg / Nm <sup>3</sup> | 300     | 300   | 1未満    | 1未満    | 1未満    |
|        | NOx (窒素酸化物) | ppm         | 60                   | 60      | 43    | 46     | 46     |        |
| 足柄サイト  | 総量規制        | NOx (窒素酸化物) | Nm <sup>3</sup> /h   | 23.48   | 21.20 | 3.2    | 2.9    | 2.7    |
|        | 濃度規制        | ばいじん        | mg / Nm <sup>3</sup> | 50      | 50    | 1未満    | 1未満    | 1未満    |
|        |             | NOx (窒素酸化物) | ppm                  | 50      | 50    | 25     | 22     | 28     |

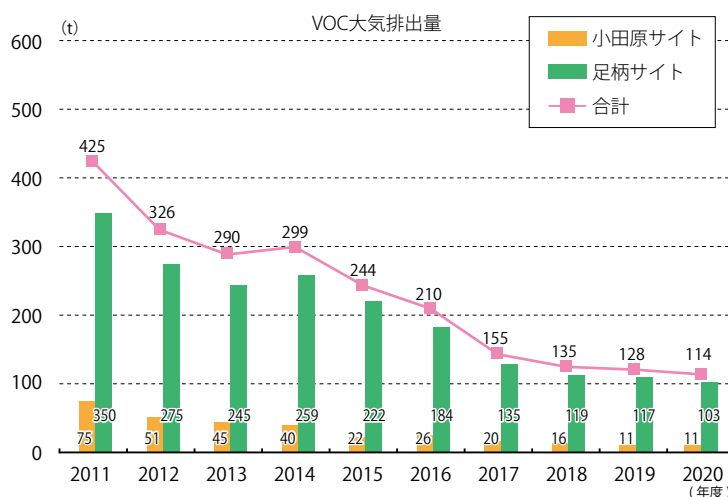
総量規制の数値は最高値、濃度規制の数値は平均値です

## 揮発性有機溶剤 (VOC) 大気排出量の削減

神奈川県事業場ではVOC大気排出量の削減に取り組んでいます。2020年度も老朽化設備の更新や工程改善などを行い、排出量を削減することができました。

### VOC 排出濃度規制への対応

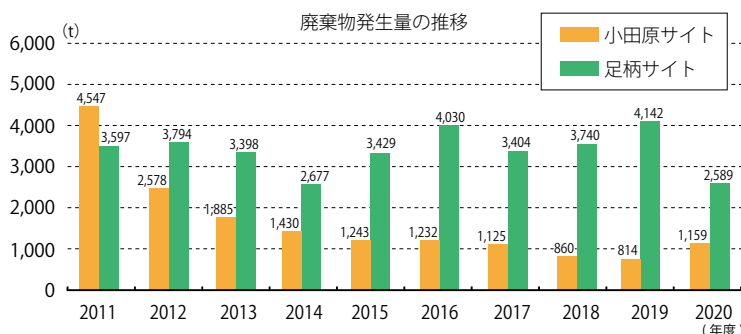
小田原サイト11か所、足柄サイト8か所の排出口での濃度測定を行い、規制値以下であることを確認しました。



## 廃棄物の管理

神奈川県事業場ではゼロエミッション活動\*を推進しております。廃棄物処理を取り巻く環境は、2018年1月に中国で廃プラスチック輸入禁止、2019年5月にはリサイクルに適さない廃棄物の国際的な輸出入規制、さらには新型コロナウイルスの影響もあり、昨今一段と厳しい状況にあります。そのような環境下、足柄サイトでは外部会社に委託処理してきた機能性フィルム製造時に発生する廃液を、事業場内の廃水処理設備の運転条件を見直すことで、2020年度に全量自家処理化を実現しました。この結果、足柄サイトの廃棄物排出量を前年度比約37%削減できました（事業場全体では25%削減）。今後も廃棄物排出量削減に向け、ベース層、廃プラスチック等の再資源化を推進し、また生産方法の効率化、安定化を進め、3R (Reduce/Reuse/Recycle) の視点で廃棄物の削減を推進していきます。

\*ゼロエミッション活動とは、事業活動で発生する廃棄物を再資源化し、廃棄物の単純焼却、単純埋立をゼロにすること。



## 水質

### 河川放流系

| 主な項目                     | 法規制値  | 小田原サイト    |           |           |         | 足柄サイト   |           |           |         |         |
|--------------------------|-------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|
|                          |       | 県条例値      | 工場管理値     | 2019年度    | 2020年度  | 県条例値    | 工場管理値     | 2019年度    | 2020年度  |         |
| 水素イオン濃度 (pH)             | -     | 5.8 ~ 8.6 | 5.8 ~ 8.6 | 5.9 ~ 8.5 | 7.1     | 7.7     | 5.8 ~ 8.6 | 5.9 ~ 8.5 | 8.1     | 8.1     |
| 生物化学的酸素要求量 (BOD *)       | mg/L  | 160       | 60        | 50        | 1       | 1       | 25        | 20        | 1未満     | 1未満     |
| 化学的酸素要求量 (COD *)         | mg/L  | 160       | 60        | 50        | 1未満     | 1未満     | 25        | 20        | 2.0     | 1未満     |
| 浮遊物質 (SS)                | mg/L  | 200       | 90        | 75        | 1未満     | 1未満     | 70        | 50        | 1未満     | 1未満     |
| 大腸菌数                     | 個/cm3 | 3000      | 3000      | 300       | 10以下    | 10以下    | 3000      | 300       | 10以下    | 10以下    |
| ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) | mg/L  | 5         | 5         | 4         | 1未満     | 1未満     | 5         | 5         | 1未満     | 1未満     |
| 銅含有量                     | mg/L  | 3         | 3         | 1         | 0.05未満  | 0.05未満  | 1         | 0.3       | 0.05未満  | 0.05未満  |
| 亜鉛含有量                    | mg/L  | 2         | 2         | 1         | 0.08    | 0.02    | 1         | 0.3       | 0.05未満  | 0.05未満  |
| 溶解性鉄含有量                  | mg/L  | 10        | 10        | 5         | 0.05未満  | 0.05未満  | 1         | 0.5       | 0.2未満   | 0.2未満   |
| 溶解性マンガン含有量               | mg/L  | 10        | 1         | 0.5       | 0.02未満  | 0.02未満  | 1         | 0.5       | 0.05未満  | 0.05未満  |
| クロム含有量                   | mg/L  | 2         | 2         | 1         | 0.05未満  | 0.05未満  | 1         | 0.5       | 0.1未満   | 0.1未満   |
| ジクロロメタン                  | mg/L  | 0.2       | 0.2       | 0.1       | 0.002未満 | 0.002未満 | 0.2       | 0.16      | 0.002未満 | 0.002未満 |
| シアン                      | mg/L  | 1         | 1         | 0.8       | 0.05未満  | 0.05未満  | 0.5       | 0.3       | 0.1未満   | 0.1未満   |
| フェノール類                   | mg/L  | 5         | 0.5       | 0.2       | 0.05未満  | 0.05未満  | 0.05      | 0.03      | 0.01未満  | 0.01未満  |
| ふっ素                      | mg/L  | 8         | 8         | 6         | 0.1未満   | 0.1未満   | 8         | 6         | 0.5未満   | 0.5未満   |
| カドミウム                    | mg/L  | 0.03      | 0.03      | 0.02      | 0.003未満 | 0.003未満 | 0.03      | 0.02      | 0.003未満 | 0.003未満 |
| 鉛                        | mg/L  | 0.1       | 0.1       | 0.08      | 0.05未満  | 0.05未満  | 0.1       | 0.06      | 0.01未満  | 0.01未満  |
| セレン                      | mg/L  | 0.1       | 0.1       | 0.08      | 0.005未満 | 0.005未満 | 0.1       | 0.08      | 0.01未満  | 0.01未満  |

\* 1 BODとは 水中の汚れ(主に有機性汚濁物質)が微生物によって酸化されるときに消費される酸素の量を指します。測定値は毎年度10月度における数値を示しました。  
 \* 2 CODとは 水中の汚れ(主に有機性汚濁物質)が酸化剤によって酸化されるときに消費される酸素の量を指します。

### 地下水水質

事業場内外に小田原サイトでは9ヶ所、足柄サイトでは16ヶ所、観測井を設置し定期的にモニタリングしています。

| 主な項目 (単位: mg/L) | 法定浄化基準<br>および県条例基準 | 小田原サイト                |                     |                     | 足柄サイト                 |                     |                     |
|-----------------|--------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|
|                 |                    | 工場管理値                 | 2019年度<br>(測定9箇所)   | 2020年度<br>(測定9箇所)   | 工場管理値                 | 2019年度<br>(測定16箇所)  | 2020年度<br>(測定16箇所)  |
| カドミウム           | 0.003              | 0.003                 | 0.001未満             | 0.001未満             | 0.003                 | 0.001未満             | 0.001未満             |
| 全シアン            | 検出されないこと           | 検出されないこと(検出限界:0.005)  | 検出限界以下(検出限界:0.005)  | 検出限界以下(検出限界:0.005)  | 検出されないこと(検出限界:0.1)    | 検出限界以下(検出限界:0.1)    | 検出限界以下(検出限界:0.1)    |
| 鉛               | 0.01               | 0.01                  | 0.001未満             | 0.001未満             | 0.01                  | 0.005未満             | 0.005未満             |
| 六価クロム           | 0.05               | 0.05                  | 0.01未満              | 0.01未満              | 0.01                  | 0.01未満              | 0.01未満              |
| 砒素              | 0.01               | 0.01                  | 0.001未満             | 0.001未満             | 0.01                  | 0.005未満             | 0.005未満             |
| 総水銀             | 0.0005             | 0.0005                | 0.0005未満            | 0.0005未満            | 0.0005                | 0.0005未満            | 0.0005未満            |
| アルキル水銀          | 検出されないこと           | 検出されないこと(検出限界:0.0005) | 検出限界以下(検出限界:0.0005) | 検出限界以下(検出限界:0.0005) | 検出されないこと(検出限界:0.0005) | 検出限界以下(検出限界:0.0005) | 検出限界以下(検出限界:0.0005) |
| PCB             | 検出されないこと           | 検出されないこと(検出限界:0.0005) | 検出限界以下(検出限界:0.0005) | 検出限界以下(検出限界:0.0005) | 検出されないこと(検出限界:0.0005) | 検出限界以下(検出限界:0.0005) | 検出限界以下(検出限界:0.0005) |
| ジクロロメタン         | 0.02               | 0.02                  | 0.0005未満            | 0.0005未満            | 0.015                 | 0.0005未満            | 0.0005未満            |
| 四塩化炭素           | 0.002              | 0.002                 | 0.0005未満            | 0.0005未満            | 0.002                 | 0.0005未満            | 0.0005未満            |
| 1,1,1-トリクロロエタン  | 1                  | 1                     | 0.0005未満            | 0.0005未満            | 0.001                 | 0.0005未満            | 0.0005未満            |
| トリクロロエチレン       | 0.03               | 0.03                  | 0.0005未満            | 0.0005未満            | 0.001                 | 0.0005未満            | 0.0005未満            |
| テトラクロロエチレン      | 0.01               | 0.01                  | 0.0005未満            | 0.0005未満            | 0.001                 | 0.0005未満            | 0.0005未満            |
| ベンゼン            | 0.01               | 0.01                  | 0.0005未満            | 0.0005未満            | 0.01                  | 0.0005未満            | 0.0005未満            |
| セレン             | 0.01               | 0.01                  | 0.001未満             | 0.001未満             | 0.01                  | 0.005未満             | 0.005未満             |
| 硝酸性窒素および亜硝酸性窒素  | 10.0               | 10.0                  | 0.8                 | 1.1                 | 10.0                  | 1.8                 | 1.1                 |
| ふっ素             | 0.8                | 0.8                   | 0.1                 | 0.08未満              | 0.8                   | 0.2未満               | 0.2未満               |
| ほう酸             | 1                  | 1                     | 0.05未満              | 0.05未満              | 1                     | 0.05未満              | 0.05未満              |

\* 「〇〇未満」とは検出限界未満を表します。

## PRTR 集計結果

単位: t / 年

PRTR 対象物質・自主管理化学物質データ (2020年度)

|           | 対象物質名       | 政令指定番号 | 排出量  |        |     |     | 移動量  |
|-----------|-------------|--------|------|--------|-----|-----|------|
|           |             |        | 大気   | 前年との差異 | 水域  | 土壌  |      |
| 小田原サイト    | 銀及びその水溶性化合物 | 82     | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 0.0  |
|           | コバルト及びその化合物 | 132    | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 0.0  |
|           | ジクロロメタン     | 186    | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 0.2  |
|           | トリエチルアミン    | 277    | 0.1  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 10.1 |
|           | トルエン        | 300    | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 1.6  |
| 足柄サイト     | りん酸トリフェニル   | 461    | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 0.0  |
|           | アセトニトリル     | 13     | 0.1  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 0.9  |
|           | エチレンジアミン四酢酸 | 60     | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 0.0  |
|           | 銀及びその水溶性化合物 | 82     | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 0.0  |
|           | クロロホルム      | 127    | 0.1  | -0.4   | 0.0 | 0.0 | 0.8  |
|           | ジクロロメタン     | 186    | 33.5 | -1.5   | 0.0 | 0.0 | 20.2 |
|           | セレン及びその化合物  | 242    | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 0.0  |
|           | トルエン        | 300    | 0.1  | -0.1   | 0.0 | 0.0 | 0.6  |
|           | ヒドロキノン      | 336    | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 | 0.0  |
|           | n-ヘキサン      | 392    | 0.5  | -0.2   | 0.0 | 0.0 | 1.7  |
| りん酸トリトリル  | 460         | 0.0    | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 |      |
| りん酸トリフェニル | 461         | 0.0    | 0.0  | 0.0    | 0.0 | 0.0 |      |

\* PRTRとは 環境汚染物質排出移動登録 (Pollutant Release and Transfer Register) の略で、化学物質を製造・使用する事業者が自主的に環境への排出量を把握・管理する仕組みのことです。

## 省エネルギー・CO<sub>2</sub>排出量の削減

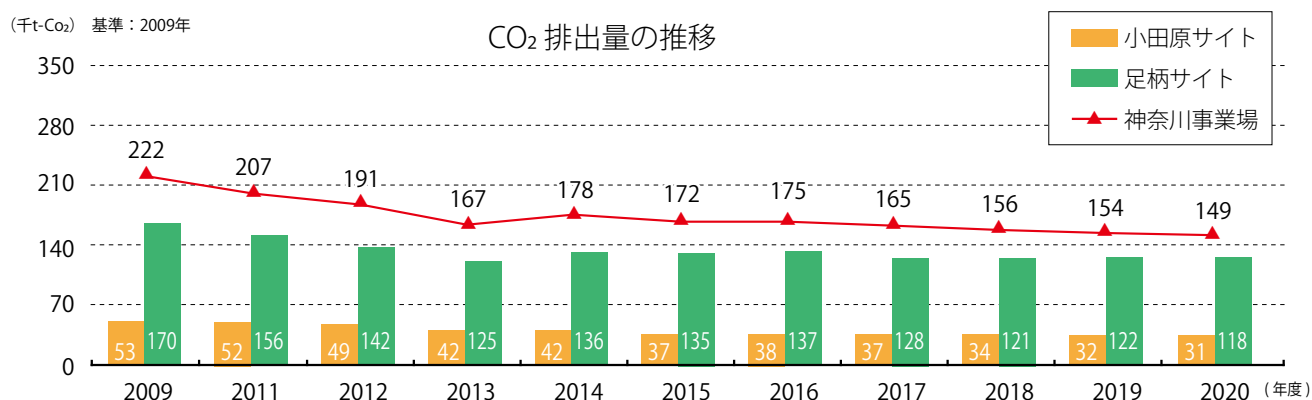
神奈川事業場は、2013年度よりエネルギー戦略推進委員会を発足させ、事業場をあげて省エネ活動を積極的に行っています。2018年度より取り組んでいるエネルギー供給側と需要側の部門横断で取り組む省エネ活動は、より活性化させて継続中です。特に2020年度は冷凍機の更新を事業場全体最適の観点で判断し、中央冷水設備への統合および最新機種特性を活用した省エネも織り込みました。今後も、冷水の使い方の改善まで検討し、次年度以降の更なる省エネ効果計上にチャレンジしていきます。

2020年度CO<sub>2</sub>排出量は、対前年比約3%低減、エネルギー原単位も、対前年比約1%良化しています。

また、政府が推進している電力のデマンドレスポンス（電力供給逼迫時に電力会社の要請に応じて購入電力を抑制する取り組み）にも継続して参加しており、電力安定供給に貢献しています。

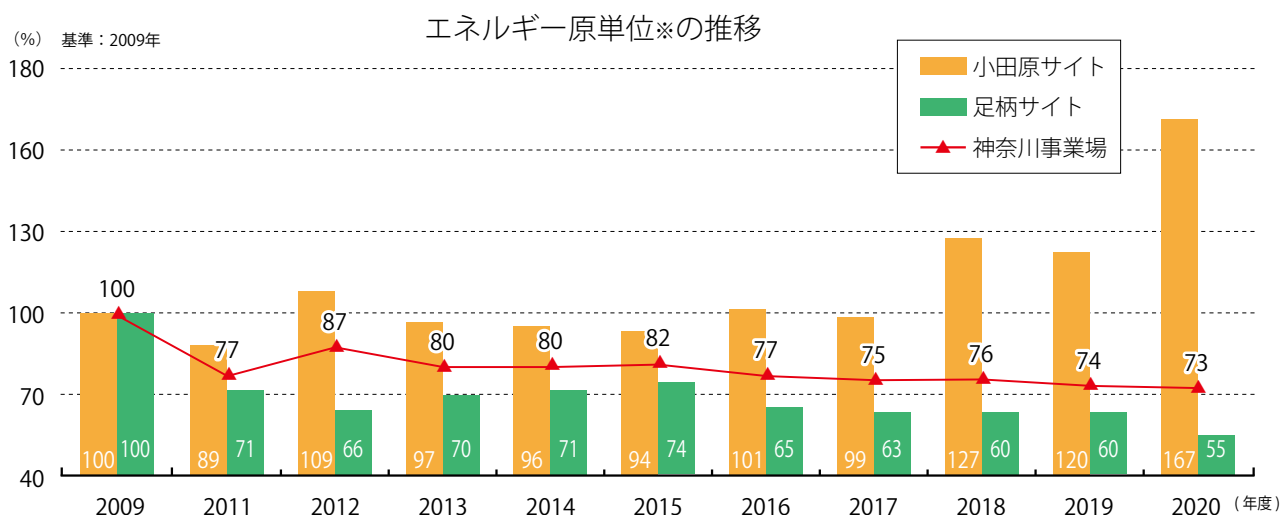
### CO<sub>2</sub> 排出量の削減

神奈川事業場は2009年比 約33% 低減を達成しました。



### エネルギー原単位の改善

神奈川事業場は2009年比 約27% 低減を達成しました。



※エネルギー原単位…製品m<sup>2</sup>当たりのエネルギー使用量で

2016年度に資源エネルギー庁に届けるエネルギー原単位の計算方法を改定した。

◆対象組織◆

富士フイルム神奈川事業場 および、  
当事業場敷地内のすべての関連組織、グループ会社が対象

材料生産本部神奈川事業場  
ディスプレイ材料事業部生産部  
ディスプレイ材料研究所  
ファインケミカル事業部生産部  
有機合成化学研究所  
高機能材料研究所  
記録メディア事業部生産部  
記録メディア研究所  
解析技術センター  
精密プロセス技術センター  
安全性評価センター

主なグループ会社

富士フイルムフォトマニュファクチャリング株式会社  
富士フイルムメディアマニュファクチャリング株式会社  
富士フイルムオプトマテリアルズ株式会社  
富士フイルムテクノプロダクツ株式会社  
富士フイルムビジネスエキスパート株式会社  
富士フイルムエンジニアリング株式会社

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

## 富士フイルム株式会社

|        |  |
|--------|--|
| 神奈川事業場 | 小田原サイト<br>〒 250-0001 神奈川県小田原市扇町 2-12-1 |
|        | 足柄サイト<br>〒 250-0193 神奈川県南足柄市中沼 210     |

### ■編集目的

本レポートは富士フイルム株式会社神奈川事業場と当事業場敷地内にある関連組織およびグループ会社の環境活動および地域コミュニケーションについての活動と2020年度における実績を中心に掲載しました。私たちの取り組みを読者の皆様にご理解いただくとともに取り組みの更なる向上を目指し、読者の方々とのコミュニケーションを図ることを目的に毎年発行しています。

### ■環境データ対象期間

2020年度（2020年4月～2021年3月）

本レポートに関するご意見・お問い合わせは下記までお願い致します。

富士フイルム株式会社 材料生産本部  
事業場運営ユニット 環境安全グループ 神奈川事業場  
TEL：0465（73）6090 FAX：0465（73）6909

発行 2021年7月 次回発行予定 2022年7月